

# 大規模アンケートご協力をお願い 2016年10月8日(土)開始!

男女共同参画学協会連絡会では、第4回大規模アンケート調査【科学技術系専門職の男女共同参画実態調査】を実施いたします。調査の対象は、広く日本の自然科学系科学者・技術者（学生を含む）であり、性別、職の有無、所属学会などを問いません。下記ホームページよりアクセスいただき、Web上でご回答をお願いいたします。多くの皆様のご協力をお願いいたします。

**連絡会大規模アンケートは我が国の  
政策決定に反映されています!**

第1回大規模アンケート  
(2003) 回答数19,291件



第2回大規模アンケート  
(2007) 回答数14,110件



第3回大規模アンケート  
(2012) 回答数16,314件



**第4回大規模  
アンケート  
(2016)**

## 調査結果の掲載

2005年度～ 男女共同参画白書  
2006年度～ 科学技術白書

## 国の基本計画に明文化!

- 2005: 第2次男女共同参画基本計画
- 2006: 第3期科学技術基本計画
- 2010: 第3次男女共同参画基本計画
- 2011: 第4期科学技術基本計画

## 国の事業に反映!

2006年度～  
• 女性研究者研究活動支援事業  
• RPD制度  
• 女子中高生理系進路選択支援事業  
2009年度～  
• 女性研究者養成システム改革加速  
2015年度～  
• ダイバーシティ研究環境実現  
イニシアティブ

**概算要求の増額を実現!**

本アンケートは、私たち自然科学系研究者・技術者に関する  
私たちのための、私たちによる貴重な統計データとなります。

# 男女共同参画学協会連絡会

自然科学系の分野で働く女性科学者の数は、わが国では諸外国に比べ著しく少なく、また、少子化の進行により、将来の技術者不足が憂慮されており、女性科学者への期待は高まっています。

自然科学系分野の男女共同参画を進めるために、学協会が連携して男女共同参画学協会連絡会を設立しました。

設立年月:

2001年10月

設立の目的:

自然科学分野の男女共同参画推進  
加盟学協会(2016年8月31日現在):  
90(正式加盟53, オブザーバ加盟37)

## ■ ■ これまでの活動 ■ ■

### 大規模アンケート調査

今後の男女共同参画推進における課題を明らかにするために、科学技術系専門職の男女共同参画実態調査を行っています。

- 第1回「21世紀の多様化する科学技術研究者の理想像 - 男女共同参画推進のために -」  
平成15年度(2003年)文部科学省委託事業報告書  
<http://www.djrenrakukai.org/2003enquete/index.html>
- 第2回「科学技術系専門職における男女共同参画学協会連絡会共同参画の大規模調査」  
平成19年度(2007年)文部科学省委託事業報告書  
<http://www.djrenrakukai.org/enquete.html#enqH19>
- 第3回「科学技術系専門職の男女共同参画実態調査」平成24年(2012年)11月実施  
<http://www.djrenrakukai.org/enquete.html#enq2012>

### シンポジウム開催

男女共同参画推進をめざした様々なテーマに関するシンポジウムを毎年開催しています。

- 設立記念集会(2002) ■ 1周年記念シンポジウム(2003)「男女が共に生きる社会」 ■ 2周年記念シンポジウム(2004)「多様化する科学技術研究者の理想像: 学協会アンケートが示すもの」 ■ 3周年記念シンポジウム(2005)「21世紀の産業を拓く男女共同参画社会」 ■ 第4回シンポジウム(2006)「育て、女性研究者!! 理工系女性研究者支援の新しい波」 ■ 第5回シンポジウム(2007)「真の男女共同参画へ向けて意識を変えよう!」 ■ 第6回シンポジウム(2008)「科学・技術の成熟と新たな創造をめざして-第二回連絡会アンケート調査報告から学ぶもの-」 ■ 第7回シンポジウム(2009)「持続可能社会と男女共同参画」 ■ 第8回シンポジウム(2010)「男女共同参画と社会」 ■ 第9回シンポジウム(2011)「今、社会が科学者に求めること-ソーシャル・ウィッシュ」 ■ 第10回シンポジウム(2012)「科学・技術における性差」 ■ 第11回シンポジウム(2013)「多様性尊重社会を目指して-第3回大規模アンケート結果報告より-」 ■ 第12回シンポジウム(2014)「女性研究者・技術者を育む土壌-連携・融合による支援をめざして-」 ■ 第13回シンポジウム(2015)「国際的な視点から見た男女共同参画の推進」

### 提言・要望活動

左記のアンケート調査結果に基づき、男女共同参画推進のための提言や要望をまとめました。(以下、一部抜粋)

<http://www.djrenrakukai.org/request/index.html>  
<http://www.djrenrakukai.org/proposal.html>

- 科学技術分野における男女参画の推進に向けての要望(2014.4)
- 今こそ、科学・技術分野に多様性を - 男女共同参画の加速に向けての要望 - (2012.3)
- 科学技術分野での男女共同参画の推進に向けての要望 (2010.8, 2009.12)
- 「女性研究者支援モデル育成」事業の推進と拡充、出産・子育て等支援制度の拡充、ならびに任期付職の育児支援等に必要施策の実現に関する要望 (2008.7)
- 研究助成への申請枠拡大に関する提言 (2004.11.9 採択)
- 科学技術研究者に適した育児支援制度の整備に関する提言 (2004.10.7 採択)

### その他の主な活動内容

#### ■ ワーキンググループ活動

女性リーダー育成・若手育成、研究者のワークライフバランス、「自分自身を知る科学」を考える、学会を含むリーダーシップ活動の機会均等、第2回大規模アンケートフォローアップ、女性研究者の採用促進に関する他国の政策と効果の調査、課題・洗い出し、アンケート解析

- 次世代女性研究者支援
- 保育室運営に関する調査
- 学協会女性会員比率調査

### ■ 正式加盟学協会

化学工学会、高分子学会、日本宇宙生物科学会、日本化学会、日本原子力学会、日本女性科学者の会、日本植物生理学会、日本数学会、日本生化学会、日本生態学会、日本生物物理学会、日本生理学会、日本蛋白質科学会、日本動物学会、日本比較内分泌学会、日本物理学会、日本分子生物学会、日本森林学会、地球電磁気・地球惑星圏学会、日本神経科学学会、日本バイオイメーjing学会、日本糖質学会、日本育種学会、日本結晶学会、日本地球惑星科学連合、日本繁殖生物学会、生態工学会、錯体化学会、日本進化学会、日本遺伝学会、日本建築学会、種生物学会、日本獣医学会、日本質量分析学会、日本魚類学会、日本畜産学会、日本水産学会、日本木材学会、日本技術士会、日本植物学会、園芸学会、日本農芸化学会、日本解剖学会、日本魚病学会、日本中性子科学会、日本神経化学会、「野生生物と社会」学会、計測自動制御学会、日本体力医学会、日本熱帯医学会、日本応用数理学会、日本衛生学会、日本民族衛生学会

### ■ オブザーバ加盟学協会

映像情報メディア学会、自動車技術会、精密工学会、地盤工学会、電気化学会、日本データベース学会、日本液晶学会、日本磁気学会、日本火災学会、日本機械学会、日本金属学会、日本女性技術者フォーラム、日本鉄鋼協会、日本分析化学会、土木学会、石油学会、日本科学者会議、日本水産増殖学会、日本バイオイノベーション学会、日本表面科学会、日本鳥学会、日本放射光学会、歯科基礎医学会、日本セラミックス協会、植物化学調節学会、日本天文学会、日本植物細胞分子生物学会、日本組織細胞化学会、日本細胞生物学会、応用物理学会、日本流体力学会、電子情報通信学会、プラズマ・核融合学会、日本数式処理学会、日本植物病理学会、日本発生生物学会、日本蚕糸学会

- 男女共同参画学協会連絡会ホームページ <http://www.djrenrakukai.org/index.html>